

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分  
 【発行日】平成 28 年 5 月 12 日 (2016.5.12)

【公開番号】特開 2014-213983 (P2014-213983A)  
 【公開日】平成 26 年 11 月 17 日 (2014.11.17)  
 【年通号数】公開・登録公報 2014-063  
 【出願番号】特願 2013-91042 (P2013-91042)  
 【国際特許分類】

**B 6 5 H 1/26 (2006.01)**

**B 6 5 H 31/00 (2006.01)**

【F I】

B 6 5 H 1/26 3 1 0 H

B 6 5 H 31/00 B

【手続補正書】  
 【提出日】平成 28 年 3 月 15 日 (2016.3.15)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

媒体を収容する媒体収容部と、  
媒体収容部の周囲に対向して設けられる壁部と、  
 前記壁部に対してスライド変位可能に設けられ、スライドすることにより前記媒体収容部の上部に位置する収納状態と、媒体を支持する媒体支持面が前記媒体収容部の外側に展開される展開状態と、を取り得る媒体支持トレイと、  
前記壁部に設けられ、前記媒体支持トレイの向きを切り替える角度規制部と、  
 を備え、  
前記媒体支持トレイは、  
回動可能であるとともに、前記媒体支持面を形成するトレイ本体部と、  
前記媒体支持トレイの回動軸線方向において前記トレイ本体部の両端部に設けられ、前記トレイ本体部から前記媒体支持トレイの回動中心に向かって延びる形状を成し、前記媒体収容部と回動可能に連結されて前記媒体支持トレイの回動中心を形成するアーム部と、  
を有し、  
前記アーム部の間において前記媒体収容部が露呈する  
ことを特徴とする媒体収容カセット。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の媒体収容カセットにおいて、前記媒体支持トレイの前記展開状態において、前記媒体支持面が先端部に向かって斜め上を向く傾斜面となる、  
 ことを特徴とする媒体収容カセット。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の媒体収容カセットにおいて、  
前記媒体支持トレイは、当該媒体支持トレイの回動中心を形成するとともに、前記壁部に設けられたガイドレールによって前記媒体支持トレイのスライド方向に案内される突起と、  
前記展開状態において前記角度規制部により支持されて前記媒体支持トレイの姿勢を規定する被支持部と、を備える、

ことを特徴とする媒体収容カセット。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の媒体収容カセットにおいて、前記角度規制部が複数設けられ、  
前記被支持部が係合する前記角度規制部を切り換えることで、前記媒体支持トレイの姿  
勢を切り換え可能である、

ことを特徴とする媒体収容カセット。

【請求項 5】

媒体に記録を行う記録ヘッドと、  
前記記録ヘッドを備えた装置本体に対し着脱可能な、請求項 1 から 4 のいずれか一項に  
記載の媒体収容カセットと、を備え、

記録が行われて前記装置本体から排出される媒体が、前記展開状態にある前記媒体支持  
トレイによって支持される、

ことを特徴とする記録装置。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の記録装置において、前記媒体収容カセットは、装着状態において前記  
装置本体の周囲を構成する一の側面から突出した状態となり、

前記装置本体には、前記媒体収容カセットにおいて前記一の側面から突出した部分の上  
部を覆うとともに、前記媒体支持トレイの展開状態において排出される媒体を前記媒体支  
持トレイに案内する中間案内部材が設けられている、

ことを特徴とする記録装置。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の記録装置において、前記中間案内部材には、前記収納状態にある前記  
媒体支持トレイの一部を露呈させる開口が形成されている、

ことを特徴とする記録装置。